



秋田大学教育文化学部附属小学校 校 報

はとの子だより

No.14 令和8年9月30日（水）発行

学校教育目標 自律 のびのび きびきび わくわく

紡がれた「ドラマ」の数々 ～「公開研究協議会Ⅰ」を終えて～

9月18日（金）に開催した公開研究協議会Ⅰでは、「自律した学習者が育つ授業デザインー子どものドラマと教材のドラマを紡ぐー」の研究主題のもとで、1～6年生の6授業を公開しました。

本校では、教師が行う授業デザインとは、子どもの発言や気付きを想定したり見取ったりする「子どものドラマ」と、教材研究を通して見えてくる「教材のドラマ」をうまく織りなし紡いでいくことであると捉えて研究を推進しています。

慶應義塾大学教職課程センター教授の鹿毛雅治先生をお招きし、今後の研究の在り方について貴重なご助言をいただきました。県内外の教員や大学生など132名が集まり、盛会のうちに終了しました。

公開した6授業で紡がれた「ドラマ」を、副校長目線で紹介します。

- 1年A組 国語「こんなことがあったよ～こんしゅうのぼく・わたし～」（授業者 工藤 優花）
体験を通して心に刻まれた思いを、友達と交流しながら自分の言葉で綴り伝える「ドラマ」
- 2年B組 図画工作「絵のぐをながして わたしたちの町」（授業者 三浦 菜子）
迷い、重ねた試行錯誤の軌跡が、絵の具のぬくもりとともにすてきな町を描き表す「ドラマ」
- 3年A組 体育「3Aタッチハンドボール～Ask・Action・Advice～」（授業者 佐々木 駿斗）
チームの課題解決に向け、自分の考えを伝え合い動きを高め合って、仲間とつながるよさに気付いていく「ドラマ」
- 4年C組 算数「この箱な～んだ」（授業者 伊藤 智美）
知っているようで実はよく知らなかった箱の構成や特徴に気付いていく「ドラマ」
- 5年A組 外国語「ふるさと秋田の魅力、発見！再発見！！」（授業者 奥田 瑞季）
友達やALT、留学生とやり取りを重ねていく中で、ふるさと秋田の潜在的な価値や魅力を見いだす「ドラマ」
- 6年A組 社会「秋田のクマ問題から考える政治～提案しよう！秋田の未来～」（授業者 山崎 泰明）
秋田が直面する地域課題に切実な問題意識をもって向き合い、AIとの対話を通して解決への道を模索する「ドラマ」

参加者からは、次のような感想がありました。一部を紹介します。

- ・子どもたちの生き生きとした姿、子どもに寄り添いながら子どもの学びを引き出し、単元、授業を設計される先生方のご努力に感激した。
- ・国語では、伝えたいことを書くために調べたり相談したり動作化したりして「書く」ことに向かっている子どもの姿が印象的だった。学び合う子どもたちの今後の成長が楽しみである。
- ・図画工作では、のびのびとした発想で技法を試す子どもたちが楽しそうだった、教師の声掛けや子

どもへの指導などに、優しさの中にも力量を感じた。

- ・外国語の留学生を巻き込んだ取組はとても興味深かった。子どもが前のめりになってなんとか知っている英語でコミュニケーションを取ろうとする姿は、私が普段の授業で見た姿であり、これこそが外国語科をやる意義なのではないかなと思った。
- ・社会科では、クマ問題から行政の役割について考えさせるという身近な事象を取り上げるのが面白かった。AIの活用方法も参考になった。裏でたくさん準備をしていたことを感じた。
- ・「子どものドラマ」が子どもによって多様に存在するだけでなく、「教材のドラマ」も一人一人の教員によって異なるものだということに納得した。

朝早くから運営面でご協力いただいた保護者の皆様には、本当にありがとうございました。

公開研究協議会Ⅱは、11月20日（金）に開催されます。



1年A組 国語



2年B組 図画工作



3年A組 体育



4年C組 算数



5年A組 外国語



6年A組 社会

全国大会 出場おめでとう

6年A組の大淵龍祐さんが所属している新体操のクラブチーム「Junction Sports Club」が、9月20、21日に宮城県白石市で開かれた大会で優秀な成績を収め、11月の全日本ジュニア新体操チャレンジカップに出場することになりました。おめでとうございます。先日、副校長室で賞状伝達をしました。

Junction Sports Club

第44回全日本ジュニア新体操選手権大会東北ブロック予選会

2026全日本ジュニア新体操チャレンジカップ予選会

2026テーブルマークカップ全国ブロック選抜体操競技選手権大会

第1回東北予選会

<成績> 新体操男子団体 第4位 得点10.050

